

第17回 SC サテライト放送株式会社 番組審議委員会 議事録

1. 開催日時： 2024年6月5日(水) 13時30分～14時30分

2. 開催場所： ショップチャンネル本社ビル

3. 審議委員出席者：

委員総数 7名

出席委員の氏名 音好宏氏(委員長)、入江たのし氏、五井千鶴子氏、棚橋節子氏、
桧山珠美氏、細川幸一氏、万場徹氏

4. 事業者側出席者：

SC サテライト放送株式会社

代表取締役社長 佐々木 良太

メディア営業部長 濱田 哲史

技術部長 高野 浩司

ジュピターショップチャンネル株式会社

販売企画本部長 兼 プランニング部長 江原 由美

ショッピングエンターテインメント戦略室 吉田 忠孝

エグゼクティブプロデューサー

5. 放送番組の編集の基準の変更：

2024年1月24日付にて、一般社団法人衛星放送協会より、加盟各社に対し、SNS等における番組出演者への誹謗中傷に関する注意喚起が為され、各社番組編集基準に、下記「条項」(推奨フォーマット)を加える旨提案あり。

「放送内容によっては、SNS等において出演者に対する想定外の誹謗中傷等を誘引することがあり得ることに留意する。また、出演者の精神的な健康状態にも配慮する。」

受けて、番組審議委員会において、当該条項を加える旨諮問したところ、全委員一致で承認する旨の答申を得た。

尚、当該条項は、別添の通り「2. (7) 表現 エ」に加えることとする。

6. 番組審議：

SC サテライト放送株式会社で放送するチャンネルの審議

「ショップチャンネル 4K」

✓ 審議番組： 「レストランテアルポルト 片岡シェフ監修 洋食グルメ4ヶ月頒布会」

✓ 放送日時： 2024年4月8日(月) 11:00～12:00

■審議委員意見

- ・ やはり美味しそうで、つい買ってみたくなる。ただ、毎月ハンバーグやグラタンが8個、10個と届くのは冷凍庫に入るのかと心配になる。割高になってもいいので、少量のセットがあるといい。生活者の多様性に合わせたバリエーションがあってもいいのではないかな。
- ・ 「監修」と名に着く商品が巷に溢れているが、過去には世間で実際に商品の監修をされていなかったという出来事もあった。この番組では監修した本人が出演して語っていたので問題無いのだと思うが、「監修」という言葉を使う際には不当表示にならないよう気を付けて欲しい。
- ・ 有名シェフの監修は権利が難しいと聞くが、さすがだと思った。監修の片岡シェフが実際に出演して語るのには非常に大事。それはショップチャンネルならではある。
- ・ 家庭では毎日食事を3回用意するのは大変なことで、家族で集まる機会も増える時期、タイムリーな商品だと感じた。本当に美味しそうで、大きな冷蔵庫が流行なのは、こういうものが生活に浸透してきている結果と感じた。
- ・ スーパーなどでも食品表示は手に取って裏返さないとわからないことが多かったが、徐々に見やすい表示も増えてきている。昨今の健康志向を考えると、内容量、塩分、カロリーなど探さなくてもわかる工夫があるといい。
- ・ アレルギー表示は番組内できちんとされていた。アレルギーは非常に大事なことなので、実際に購入する際にオペレーターが対応できるようにはなっているのか。
- ・ 今回監修のシェフはお父様も有名なシェフですが、ご自身の言葉で語られていて好感が持てた。最近の冷凍食品はとても進化していると聞くので、製造工程をもっと紹介しても良いとの思いもあったが、全体を通してとても美味しそうに感じられ、非常に良かった。
- ・ プロの料理人しかできないような内容の話がもう少し聞けたら良かったが、複数のアレンジを見せてくれたのは良かった。視聴者もアレンジは嬉しいと思う。商品と一緒にアイデア集を送ってくれたら売りになる。
- ・ 器が料理に合って見栄えもした。合う器を紹介しても良いと思う。商品自体の価格の安さにも驚いた。
- ・ ハンバーグの湯気やシズル音はとても良く、効果的だと感じた。
- ・ キャスト（司会）とゲストの掛け合いが漫才のようでとても面白かったが、時折キャストがゲストの言葉に被せて発言してしまうのが気になった。
- ・ ピザは直径サイズの案内があると、自宅のオーブントースターに入るか判断できて親切だと思う。
- ・ 直接今回の番組についてはではないが、ショップチャンネルではエシカル消費に結びつく商品紹介が無いように感じる。例えば、食品であれば飼育環境に配慮された動物を食材として使用している、環境に配慮された商品であるなど。今後はそういったものが付加価値となり差別化になるのではないかな。

■ 事業者発言

- ・ 委員の皆様からのご意見は非常に勉強になり、また美味しそうな映像や音声とっていただけたことは大変嬉しく思う。
- ・ 商品の量に関しては、実際にお客様からも多く意見をいただいている。少量が欲しい、逆にもっと大容量を、という声もあり、web 等を使ってテレビと異なる量で販売しているものもある。パッケージや製造工場との兼ね合いもあるので、様々な商品開発が可能かも協議の上で、トライしていきたい。
- ・ 「監修」という言葉が誤解を生みかねないところではあるが、本人が出演して語るのがショップチャンネルの良さでもある。この商品は、担当のバイヤーが片岡シェフと一緒に、時間をかけて味や量も検討を重ねている。こういった真摯な取り組みは続けていきたい。
- ・ 塩分や熱量の表示について、画面上にこういった表示が出せるのか等も制作側とも話し合った上で一步進んだ健康志向にお応えできるか、検討を進めていきたい。また、アレルギーに関してはもちろん表示しており、受注の際にはコンタクトセンターで電話を受けるオペレーターが画面で確認できるシステムになっている。
- ・ 製造に関して、販売責任者はショップチャンネルなので、何か問い合わせがあれば、メーカーへ確認の上で回答することは可能。
- ・ キャストとゲストの掛け合いが面白いとっていただけたことは大変嬉しく思う。どちらもお客様に伝えたいことがたくさんあるので、被り気味になるのをコントロールするという事は、今も課題として取り組んでいるが、更に改善に向けてフィードバックしていく。
- ・ ピザの大きさについて、何センチというサイズは表示していないが、オーブントースターに入れるシーンを流して大きさ感を見せている。引き続きわかりやすい映像や説明を工夫していくように努める。
- ・ ショップチャンネルでは「未来へのおくりもの」というイベント番組にてサステナブルな暮らしのヒントとなる商品を紹介する時間を少しずつではあるが設けている。番審の中でそういったテーマを取り扱う番組をご覧いただくことも今後検討していきたい。地球環境に配慮した商品の番組など、ショップチャンネルとしてできることを1歩ずつ取り組んでいきたい。